

## 「2010年度 東京都の予算分析」発行にあたって

今年も、東京都の予算を分析し批判的に検証するパンフレット「2010年度 東京都の予算分析」を発行することができました。

自公政権による新自由主義・「構造改革」路線推進の結果、貧困と格差が拡大して国民生活が破壊されました。このことで世論にも劇的な変化が生じ、昨年7月の都議選では自民党・公明党が後退して民主党が第一党となり、8月の総選挙では政権交代が起きました。「構造改革」路線による「民間でできることは民間で」「財政効率最優先」「自己責任」の流れに疑問が出され、「公的責任強化」を求める世論が強まっています。

しかし、東京都をはじめ、各自治体当局は相変わらず退職不補充方針に固執し、民営化・委託化・定数削減を続けようとしており、新政権も自治体「構造改革」の流れを変えようとせず、保育の最低基準廃止・緩和などを策動しています。

3期に及ぶ石原都政は、新自由主義・「構造改革」路線の先導役を務め、都民生活を切り捨ててきました。自治体本来の役割を放棄する石原都政の数々の悪政が破綻していることが、誰の目にも明らかになってきています。これは、私たち自治体労働組合も含め、石原都政の悪政を告発してきた草の根の都民運動の大きな成果です。さらに、運動の幅を広げ、貧困と格差の解消など具体的な改善を実現していく必要があります。

2011年4月に行われる都知事選挙で民主的な都政へ転換することが求められています。そのため、広範な共同の取り組みによって、都政を都民本位のものに転換させる闘いが重要です。現在、11月3日に第8回東京地方自治研究集会を開催することを予定して、多くの都民団体の皆さんと準備を進めているところです。

この予算分析パンフレットは、都政政策づくりにも役立つように編集し、石原都政の重点課題についての分析・批判 各分野別予算の特徴分析という項目で構成されています。

作成にあたって、自治労連都庁職や東京自治問題研究所の協力も得て、東京自治労連の自治体行財政委員会でもとめました。ご協力に感謝いたします。

このパンフレットが、都民の皆さんにとって、東京都予算を理解する一助になれば幸いです。

2010年3月

東京自治体労働組合総連合  
中央執行委員長 荻原 淳

## 目 次

2016年オリンピック開催の口実を失った2010年度都予算 .....	1
- 「10年後の東京」実行プログラム2010と新たな大企業優先の都政運営 -	
2010年度東京都予算分析	
1 大幅な税収減に耐えうる都の財政構造 .....	15
2 オリンピック招致経費について .....	18
3 新銀行東京 .....	19
4 築地市場の豊洲移転について .....	20
分野別予算について	
1 大企業・大資産家への適性な課税と 税源移譲による自主財源である地方税（都税）の充実を .....	23
2 切り捨てられた保健・福祉・医療の充実を .....	27
3 農林水産関係予算の特徴と問題点 .....	34
4 4年連続増額となった中小企業対策予算の特徴と実態 .....	35
5 消費者が安心できる行政か .....	37
6 史上最悪の雇用、失業者にどう対応するのか .....	40
7 国際競争力強化を旗印に過剰な建設投資に進む東京港 .....	42
8 相変わらず新規の都営住宅建設はされず .....	44
9 都民の願いにこたえられる教育予算か？ .....	46
10 新プランでも黒字の水道料金値下げを拒否 .....	50
むすび .....	52
資 料 .....	53